

平成25年度経営計画

1. 業務環境

長野県経済は、緩やかながら持ち直しに向けた動きが見られるものの、依然として弱めの動きとなっています。

製造業は情報技術関連や自動車関連の一部で生産が下げ止まりつつあるものの、機械・同関連部品などは弱含んでいます。

建設は、公共事業、住宅建設ともに一進一退の動きとなっています。

個人消費は、小売に底堅い動きがあるほか、自動車販売においても新車登録台数は回復傾向にあります。

雇用情勢は、有効求人倍率が0.8倍台と低水準にとどまっています。

このように長野県経済は、総じて足踏み状態が続いています。

県内中小企業においては、直近の円安や株高に対し期待する見方が強いものの、売上の増加を実感できている企業は少なく、中小企業まで影響が及ぶには時間がかかる見通しです。

今後、各種政策効果などにより景気回復が期待されますが、依然として厳しい雇用情勢や先行き不透明な海外景気を背景に、厳しい状況が続くことが予想されます。

金融面の動向は、金利低下が続いているにもかかわらず、資金需要は運転・設備資金ともに引き続き低迷しています。

2. 業務運営方針

県内中小企業者の資金繰りの安定を図るため、国及び地方公共団体の中小企業施策に即応し、各種政策保証に積極的に取り組むとともに、条件変更にも柔軟に対応することで、個々の企業の実情に応じた資金繰り支援を行っていきます。

併せて、地域経済に新たな活力を創出する創業者支援に積極的に取り組むほか、中小企業金融円滑化終了後の景気動向等に注視しつつ、金融機関及び関係機関との連携を一層強化し、経営支援・再生支援にも積極的に取り組むなど中小企業者のパートナーとして親切・丁寧・きめ細やかな対応に努めることで、「地域の皆様に信頼され、顔の見える保証協会」を目指します。

また、コンプライアンス態勢の充実・強化、個人情報保護の更なる徹底及び反社会的勢力の排除や不正利用の防止を引き続き図るとともに、業務の効率化、回収の最大化、事業継続計画の継続的見直し、人材育成など経営基盤の強化を図っていきます。

【保証部門】

- 経営力強化保証やセーフティネット保証、借換保証など各種保証商品を積極的に推進します。
- 創業保証の積極的な推進や保証利用後のモニタリング訪問、関係機関との連携等により、創業者に対するきめ細やかな支援を行います。
- 新規保証利用者向けの新たな保証制度創設やキャンペーンの実施、関係機関との研修会の開催等により信用保証制度を広く周知し、保証利用企業数の増加を図ります。

【期中管理部門】

- 経営改善・再生支援の充実を図り期中支援を強化していきます。
- 様々な経営課題の解決を図り企業の成長や発展のサポートを行うため、関係機関との連携強化を図ります。
- 長野県中小企業診断協会と提携し、協会が経営診断費用を負担する診断士派遣事業を開始します。

【回収部門】

- 代位弁済前から関係者の現況把握に努め、管理回収の早期着手を徹底することや、サービスの有効活用を図ります。
- 担保物件の任意処分や定期回収の促進、法的措置の有効活用など、状況に応じた多様な回収方法の推進を図ります。

【その他間接部門】

- 信用保証懇話会や企業訪問等により顧客ニーズを把握するほか、セミナー等を開催し顧客サービスの向上に努めます。
- コンプライアンスの徹底及び個人情報態勢の充実・強化を図り、また関係機関と連携し反社会的勢力を排除します。
- 人材育成を強化するほか、危機管理体制の整備を行います。

3. 事業計画

平成25年度の保証承諾等の主要業務数値（計画）は、以下のとおりです。

項目	金額	前年度計画比
保証承諾	2,302億円	100.6%
保証債務残高	5,846億円	97.8%
代位弁済	130億円	108.3%
回収	23.5億円	90.4%